

(第7号様式の2)

事業報告書

(※必要に応じて枠を広げてご記入ください。)

1 事業名	がんで大切な人を亡くした方（遺族）への支援事業
2 事業期間	令和6年 5月 ～ 令和7年 2月
3 事業内容	具体的な内容（いつどこで何を実施したか等） 1. 遺族会「おもいを紡ぐ会」の開催 【第1回】日時：2024年5月19日（日）14時～16時 場所：なは市民活動支援センター2階和室 内容：緩和ケア医師による「マインドフルネス」実演講義、遺族同志の茶話会（参加者ご遺族5名） 【第2回】日時：2024年8月25日（日）14時～16時 場所：なは市民活動支援センター3階会議室 内容：遺族同志の茶話会（参加者ご遺族4名） 【第3回】日時：2025年2月9日（日）14時～16時 場所：なは市民活動支援センター2階和室 内容：遺族同志の茶話会（参加者ご遺族1名） 【第4回】日本対がん協会主催：がん患者・家族支援チャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン おきなわ」に参加した際に「おもいを紡ぐ会」も同時開催 ※詳細は5に記載 2. 参加者に向けた「講座」を開催 第1回遺族会「おもいを紡ぐ会」にて緩和ケア医師による「マインドフルネス」の講座を開催 開催日時：5月19日（日） 場所：なは市民活動支援センター2階和室 内容：「マインドフルネス」による自分自身の心との向き合い方を実演しながら、遺族としてこれからの生き方について考えられるような内容を講演していただいた。 参加者：5名 3. SNS、新聞、ラジオを通じての情報発信 【SNS】個人のSNSでは情報を拡散したが、当団体のものは作成することができなかった。

3 事業内容	【新聞】 ① 2024 年 6 月 4 日（火）付、琉球新報（9）生活面に活動内容「おもいを紡ぐ会」について取材され記事掲載 ② 琉球新報社の「こころの扉を開いたら」連載：2025 年 1 月～6 月まで毎月第 2 火曜日に掲載。がんに罹患した夫の心の揺れ動きや家族としての心境を記載している。 【ラジオ番組】 日時：2024 年 10 月 22 日 15 時放送 番組内容：FM レキオ（80.6MHz）「坂井浩二のズミ！ズミ！情報レキオ！」にゲスト出演し、キャンサー・グリーフの活動内容と「おもいを紡ぐ会」の様子を番組内で紹介した。 4. 映画「あなたのおみとり」にてトークイベントへ参加 日時：2024 年 10 月 24 日（木）、11 月 27 日（水）の 2 回、19 時～21 時 場所：沖縄市 シアタードーナツ（映画館） 内容：映画「あなたのおみとり」を鑑賞後、キャンサー・グリーフおきな和のスタッフと訪問看護師、介護士、緩和ケア医、臨床倫理認定士等多職種と会場での意見交換を行った 観客数：約 50 名（2 回） 5. 日本対がん協会主催：がん患者・家族支援チャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン おきなわ」へ「遺族のテント」を設置し「おもいを紡ぐ会」を開催 日時：11 月 10 日（土）15 時～22 時 場所：沖縄大学 アネックス館 内容：ご遺族の語りの場を作成、また実行委員として参加 参加者数：9 名 6. 団体ちらし作成 200 部のちらしを作成し、下記の場所に配布予定である。 ・那覇市立病院 ・琉球大学病院 ・アドベンチスト・メディカルセンター ・オリブ山病院 ・豊見城中央病院
--------	--

4 達成目標と達成度	達成目標（事業計画書と連携させる）	目標数値	実績値	達成度 (%)
	・ご遺族が、気持ちが楽になったと言語化できる ・「おもいを紡ぐ会」を4回/年開催 ・講座を1回/年開催 ・SNS発信を1回/月 ・新聞コラム・登壇への投稿	・60%以上 ・3回/年 ・1回/年 ・6回/年 ・1つ以上	・100% ・4回/年 ・1回/年 ・0回 ・2回	・100% ・100% ・100% ・0% ・100%
	結果に至る理由、気づき、検証等 ・「おもいを紡ぐ会」終了後に参加者へアンケートを実施した。アンケート回収率は100%であり、19名からの回答を得た。会の中でも「気持ちがすっきりした」「話すことが出来て楽になった」と語られていた。アンケートの中でも、会の内容が良かったと答える方が、19名中18名であった。また会の総合的な満足度も、大変満足と満足を合わせる答えが100%であった。無回答を除く18名全員がまた参加したいと答えていた。 このことから、会への参加は気持ちが楽になり、また参加することで、グリーフケアの一環になっていると考えられる。 ・「おもいを紡ぐ会」は、2024年5月、8月、11月（リレー・フォー・ライフ・ジャパンおきなわのイベント内にて）、2月の4回/年開催できている。 ・5月の「おもいを紡ぐ会」の中で緩和ケア医師による「マインドフルネス」の講座を開催することができた。 ・個人のSNSでは情報を拡散したが、当団体のものは作成することができなかった。ただし、新聞、ラジオ、映画館でのトークイベントにて市民への周知、啓発活動は実施できたと思われる。			

5 事業の成果	事業を実施したことで得られた結果 ・対象者に及ぼした影響 1. 同じ立場の遺族と語ることで、涙を流し、現在のご自身の気持ちに気付くことが出来ていた。 2. 日々の生活をもやもやして過ごされている人が多く参加されていた。しかし、会に参加し語ることで頭の中が整理でき、すっきりして前向きに日常生活を捉えられると言語化し、笑顔で帰宅されていた。 3. 配偶者を亡くされた方の参加がほとんどであったが、日常生活の中で思い出を語る場が少ないようだった。思い出を語る場があると感じ、そういう場があると思うことで生活を一步踏み出しているように感じられた。 4. 「おもいを紡ぐ会」へ参加したご遺族2名から、遺族のびあサポーターとして勉強していきたいと声掛けがあった。沖縄県で毎年開催されているびあサポーター養成講座へ案内した。今後、当団体にもサポーターとして参加していただけることを希望している。 ・連携機関、協力者に及ぼした影響 1. 医療機関の方より、遺族のケアとして家族・遺族へちらしなど情報提供を行い、当団体へ支援を引き継ぎたいと連絡があった。そのため、団体ちらしの送付依頼があった。
5 事業の成果	・地域、コミュニティに及ぼした影響 1. 他のグリーフ団体、遺族会と連絡を取り合い、今後学習会や市民公開講座の運営などお互いに協力していくこととなった。 2. 医療機関へ団体の存在を周知でき、次年度は沖縄県事業である「がんサポートハンドブック」へグリーフケアの団体として掲載されることが決まった。

6 次年度以降 の展開	(ビジョンを見据えたうえで次年度以降に予定している展開) 1. 「おもいを紡ぐ会」(遺族会)の継続および回数を増やす: 1 回/2~3 か月 2. 市民公開講座の開催: 県民へのグリーフケアの周知・啓発 3. 映画とトーク: コミュニティ(公民館など)で啓発し、地域住民へグリーフケアを充実させていく 3. 広報活動の充実: SNS (Facebook、Instagram、公式 Line など)、Homepage の作成 5. ボランティア(これまで会に参加された方も含む)の募集 6. 沖縄県の事業である「がんサポートハンドブック」にグリーフケア団体として紹介文を掲載予定																																										
7 実施した事業 全体への自己 評価とその理 由	①自己評価(5段階評価) 当てはまるところに○をつけてください。 <table border="0"> <thead> <tr> <th></th> <th>と て も 良 か っ た</th> <th>良 か っ た</th> <th>ま あ ま あ 良 か っ た</th> <th>少 し 良 か っ た</th> <th>全 く 良 く な か っ た</th> </tr> <tr> <th></th> <th>5</th> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 課題設定は良かったか</td> <td>☒</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 解決策として良い手法だったか</td> <td>☒</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 自団体の実施体制は良かったか</td> <td></td> <td>☒</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 他団体との協働体制は良かったか</td> <td></td> <td></td> <td>☒</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 対象者への周知は良かったか</td> <td></td> <td></td> <td>☒</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		と て も 良 か っ た	良 か っ た	ま あ ま あ 良 か っ た	少 し 良 か っ た	全 く 良 く な か っ た		5	4	3	2	1	1 課題設定は良かったか	☒					2 解決策として良い手法だったか	☒					3 自団体の実施体制は良かったか		☒				4 他団体との協働体制は良かったか			☒			5 対象者への周知は良かったか			☒		
	と て も 良 か っ た	良 か っ た	ま あ ま あ 良 か っ た	少 し 良 か っ た	全 く 良 く な か っ た																																						
	5	4	3	2	1																																						
1 課題設定は良かったか	☒																																										
2 解決策として良い手法だったか	☒																																										
3 自団体の実施体制は良かったか		☒																																									
4 他団体との協働体制は良かったか			☒																																								
5 対象者への周知は良かったか			☒																																								

7 実施した事業 全体への自己 評価とその理 由	②上記の結果となった理由について 1. 課題設定は、遺族にとって必要な場であったことが結果からも明らかであった。そのため「とても良かった」と評価した。 2. 定期的な遺族会の開催とメディアでの広報、啓発は良い手法だったと考える。 3. 自団体の体制は、スタッフが仕事と両立させていることや遠方のスタッフもあり、なかなか対面でのミーティングが困難であった。そのため、SNSの作成が実施まで至らなかった。また、会のパンフレット作成などの作業が遅れてしまった。しかし、遺族会の開催は予定通り実施できたため、目標は達成できた。そのため「良かった」と評価した。 4. 他のグリーフの団体と繋がることが出来た。本年度は連携して実施することはなかったが、次年度は学習会や市民公開講座での協力を一緒に実施していくこととなっている。他団体と繋がれたことだけでも本年度は良かったと感じている。「まあまあ良かった」の評価とした。 5. 上記でも述べたが、新聞等メディアでの周知はできた。しかし、計画していたSNSでの発信はできていない。病院、クリニックへの情報発信ができたことは良かったと感じている。そのため、「まあまあ良かった」と評価した。
8 市への要望・ 欲しい支援等	なは市民活動支援事業に係る下記の項目に対して (①事業説明会 ②個別相談 ③募集期間 ④広報支援 ⑤オープンデータ等) ① 都合により説明会に参加できなかった場合、映像で後ほど視聴できるしくみがあればと感じました。 ② 個別相談は、自団体の内容整理などとても役立ちました。仕事および遠方のスタッフがいるため、夜間やオンライン相談も実施していただけたら有難いです。 ③ 募集期間に関しては、特に要望はありません。交付申請書の記載に関しても丁寧にご教示いただきました。 ④ なは市民活動支援センターだけではなく、市の所有する場所での広報活動を支援していただけたらと思います。 ⑤ 前年度の内容に関するデータ等は拝見させていただきながら、自団体の活動を実践できたと思います。今後も同様の御支援をいただけたらと思います。